

# 東建パブリニユース

2020年3月3日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

2020年2月22日 岐阜新聞 P. 22

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

## 織田信秀の愛刀光る 岐阜市のドラマ館、限定展示

岐阜市大宮町の市歴史博物館に開設中の「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」で、戦国武将織田信長の父

ときは今  
麒麟物語



信秀の愛刀などが3月8日まで、期間限定で展示されている。

展示しているのは、刀と信長直筆の朱印状、織田家の家紋が入った旗の3点。多数の刀剣を所有する東建コーポレーション（名古屋

市）が6月、日本刀に特化した博物館「名古屋刀剣ワールド」を同市栄地区に開館するのに先立ち、コレクションの一部を貸し出した。

刀は、鎌倉時代の備前国（岡山県）長船派の刀工・景光の作。地鉄の美しさが特徴で、柄に覆われる部分に「織田弾正忠信秀拵上之」の銘が切られており、信秀の没後に信長に引き継がれたとされる。

朱印状は信長が重臣らに宛てた文書で「天下布武」の朱印が押しており、旗には織田家の家紋である木瓜紋が描かれ、分銅紋が添えられている。

大河ドラマ「麒麟がくる」にも信秀が登場するなど物語でも注目度は高まっており、来場者は織田家ゆかりの品を興味深そうに眺めていた。

（亀山大樹）

期間限定で展示している刀など織田家ゆかりの品＝岐阜市大宮町、「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」

以上